



気温は氷点下、時折雪が舞う中、元気に登校 — 木曜日が始まります。(12月17日 朝)

先月実施した修学旅行アンケートでは、9割を超える保護者の皆様から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

コロナ禍の下、日々状況が変化し先が見通せない中で、たくさんの声をお寄せいただきました。お一人お一人の言葉を書きとめながら、我が子の安心安全を願う気持ち、行事への期待や有り様への思いが熱く伝わってきました。

本号見開きでは、アンケート結果の概要や、主な意見・要望を紹介します。また最終面では決定に向けた基本的な考え方をお伝えします。

いただいたご意見の中に次のような言葉がありました。—「思い出に残る楽しい旅行というのは、参加者全員が感染しない、させないということが大前提。」その通りです。修学旅行に限らず、学校生活すべてにおける原則とも言えます。その上で、現時点で考えられる最善策を模索していかなければなりません。また、次のようなご意見も—「どんな形であれ、子どもたちの思い出になるような行事ができればいいと思います。」時には厳しい決断も求められるコロナ時代の中学校です。

修学旅行アンケート

修学旅行に向けて

修学旅行には大きなめあてがあります。コロナ禍の中、その目標を最大限に実現するためにはどうしていけば良いのでしょうか。ここでは、改めて修学旅行を実施するための原則について確認します。

原則①
生徒の安心安全を第一とする

- ① 新型コロナウイルス感染症への対応
→「罹患しない、罹患させない」を大原則とし、修学旅行を立案・運営していく。
- ② 従来の感染症や疾病への対応
- ③ 事故やケガの防止

原則②
学校行事の目的を基本にする
旅行・集団宿泊的行事のねらい

- ① 校外の豊かな自然や文化に触れる体験を通して、学校における学習活動を充実し発展させること。
- ② 校外における集団活動を通して、相互の人間的な触れ合いを深め、楽しい思い出をつくること。
- ③ 集団生活を通して基本的な生活習慣や公衆道徳などの経験を積み、集団生活のあり方を実践し、互いを思いやり協力する態度を育てること。

いつ・どこに・どうやって・内容は
(1実施日) (2場所) (3移動方法) (4宿舎・活動内容)

原則③
学校行事の内容はその学校の裁量で決める

- ① 一つの学校で行う教育課程(教科・特別活動・学校行事など)は、学習指導要領に則り、その学校の特色を生かして、独自の計画を立て実践することになっています。
- ② 国や県、市から特別な指示がない限り、学校行事の中の旅行・集団宿泊的行事に位置づけられる修学旅行は、学校独自の計画で進められます。

原則④
修学旅行列車や新幹線利用では事前の予約(解約)が必要

- ① 修学旅行列車や新幹線を利用する場合は、1年近く前に関係する交通機関に予約をしています。
- ② ①の場合、旅行直前の取り消しはできません。旅行日の数か月前に意志決定をし、交通機関に伝えなければなりません。

交通機関の利用をどうするか。決定する時期が来ています。学校では、生徒の安心・安全を第一に考え、いつ、どこで、どのように行う修学旅行が良いのか判断していかなければなりません。



【学年目標】 ■自ら判断し行動できる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒
■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1
電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338